

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和元年 5月 15日
北信地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	6	課題区分	C		
実施機関	北信地域振興局		担当	所属	北信建設事務所
事業名	観光振興のための必要な人材の確保と環境整備		電話	0269-23-0793	
			E-mail	hokuken-seibi@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	サイクリングモデルコースの整備等観光振興に必要な環境整備を行うことにより、グリーンシーズンの観光誘客を促進し、冬期間にとどまらない、通年型の観光地域づくりを目指す。			
	現状と課題	＜サイクルツーリズムモデルコース整備＞ 信越自然郷にはジャパンエコトラック認定サイクリングコースが22ルートあるが、コースの案内が不十分など、自転車走行に快適な道路環境整備が求められている。 ＜高原連携道路の検討＞ 志賀高原～秋山郷～カヤの平を結ぶ県道奥志賀公園栄線の冬季閉鎖（例年11月～6月上旬）の早期解除を求める声があるが、狭隘区間や落石等の危険な法面が存在。			
	内容 (変更後の内容)	＜サイクルツーリズムモデルコース整備＞ 「いいやま地区地域戦略推進会議」において承認されたサイクリングモデルコースについて、路面案内表示(ピクトグラム)の追加設置や補修等のコース整備を行う。 ＜高原連携道路の検討＞ 関係市町村とともに整備を進めていくため、航空写真撮影及び図化を実施し、狭隘区間や落石・雪崩の危険箇所などの課題となる箇所を抽出し、部分的な拡幅や防災施設の整備など、必要な対策を検討する。			
	事業期間	平成30年4月1日		～	平成31年3月31日
	成果目標 (成果指標)	・信越自然郷アクティビティセンターのレンタサイクル稼働台数の増加 ・検討図面の作成 ・志賀高原、秋山郷、カヤの平の観光入込客数の増加			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	サイクルツーリズムモデルコース整備事業	・モデルコースの路面案内表示の追加設置や補修等	486,000		
	高原連携道路の検討事業	・危険箇所の抽出 ・道路の拡幅など必要な対策の検討	2,514,000		
	合計		3,000,000		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	＜サイクルツーリズムモデルコース整備＞ ・モデルコースの路面案内表示(ピクトグラム)の補修4箇所、交差点などのわかりづらい箇所に案内標識を1箇所設置。 ＜高原連携道路の検討＞ ・県道奥志賀公園栄線の狭窄箇所や落石等の危険箇所などの課題を抽出するために空中写真撮影及び図化を実施。 [空中写真測量] L=10.7km A=21.0km ² [図化] A=0.49km ²		・現在の路面案内表示に対する課題等の抽出を行い改善を図ることができた。 ・関係市町村等から成るワークショップを2回開催し、観光資源や危険箇所を抽出することにより、課題や情報の共有が図られた。		<input type="radio"/> 期待以上 <input checked="" type="radio"/> 期待どおり <input type="radio"/> やや下回る <input type="radio"/> 期待以下
今後の方向性	＜サイクルツーリズムモデルコース整備＞ 承認されたサイクリングモデルコース以外にも新たなコースの設定や観光スポットへの案内表示の設置等を検討していく。 ＜高原連携道路の検討＞ 抽出された危険箇所の対策工の検討や交通情報、観光スポットなどの情報発信についての検討を進める。				